

令和3年7月19日

報道関係者 各位

公益社団法人日本PTA全国協議会
会長 清水敬介

熱海市における土石流災害及び千葉県八街市における交通事故の
報道に関する要望書

この度の熱海市における土石流災害は多くの方々が被災され、子どもたちは日常の生活に戻りづらい日々が続いております。また、千葉県八街市における交通事故においては、痛ましい事故を目の当たりにし、心に大きな傷を受けた子どもたちに寄り添いながら保護者や地域の方々もつらい日々を過ごしておられます。心身ともに傷つかれた皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

そのような状況の中、保護者が立ち会わない場所における、報道関係者とみられる大人からの子どもたちへの声掛けや、学校に出向いての取材・報道についての事例報告を受けております。

公益社団法人日本PTA全国協議会は、都道府県・政令指定都市64協議会で構成する、公立小中学校の保護者と教職員約800万人の組織です。子どもたちの健やかな育成と教育環境の向上、社会教育及び家庭教育の充実を目的に活動しております。兼ねてより、民間放送連盟との懇談会等を通じ、「子どもたちへの取材活動の影響」については以下進言申し上げて参りました。重大事件の発生時など、特に社会的関心が高いニュースソースの場合、民間放送各社による子どもたちへの取材行為や報道について、過剰とも思える取材がなされていることがあるとの報告を受けています。「報道の自由」の見地から、取材活動の制限を主張するものではありませんが、過度な取材活動による子どもたちの心身に与える影響や、報道されることによる社会的な影響についても十分考慮し、報道倫理に基づき、紳士的な取材活動かつ報道の公平性をたもっていただきたいと思います。また「教育的配慮」という観点からも、子どもたちの人権が無視されることのないよう集団的過熱取材、いわゆる『メディアスクラム』行為や、取材方法は厳に慎んでいただくよう求めます。

改めて、子どもたちが一日も早く笑顔を取り戻すことができるよう、以下の2点を強く要望します。

- ・取材及び報道において、子どもたちの尊厳を守り、心身の健康に充分にご配慮いただきたい。
- ・取材及び報道において、学校教育活動に支障が出ないようご配慮いただきたい。

以上、よろしくお願いたします。